



ゆずりは

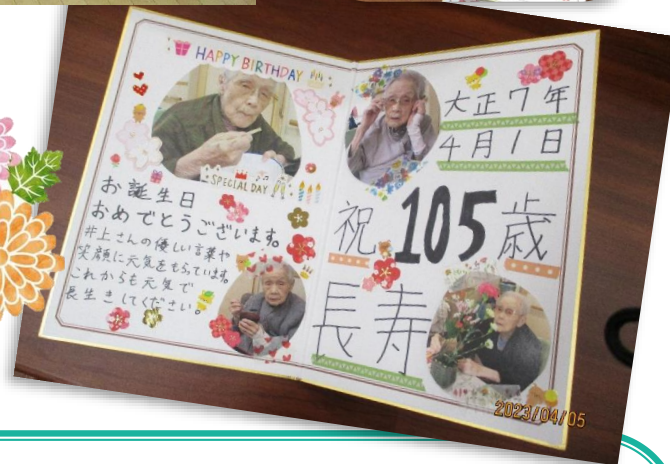
社会福祉法人 敬仁会
特別養護老人ホーム
白 亜 館

ホームページ

<http://hakuakan.ec-net.jp>



祝・105歳

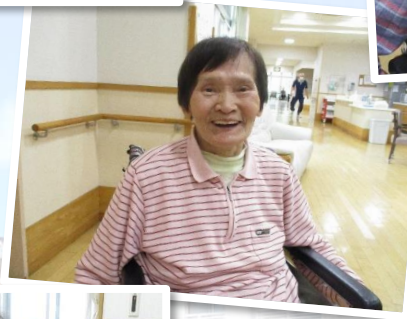
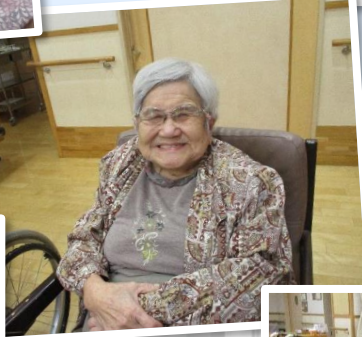


「令和4年10月発行 第51号」の広報紙でご紹介させて頂きました井上文江様が今年の4月1日にめでたく105歳になられました。白亜館で最高齢の利用者様です。特別ゲストに息子様をお呼びして一緒に長寿のお祝いを行ないました。現在もお食事は自力で召し上がり、お手洗いの支援も日中はほとんど必要ありません。衣服の着脱や歯磨きもご自分の力でなさっています。井上文江様からたくさんのお言葉とお元気を頂きながら、施設職員も日々頑張っています。これからもますますお元気でぜひ世界最高齢を目指してお過ごし下さい(^0^)/

特別養護老人ホーム白亜館 職員一同



笑顔の写真を集めました！



コロナ禍になり、介護職員と利用者様はマスク越しでの関わりとなってしまいました。また、家族との面会制限も余儀なくされたことにより、利用者様の笑顔が減ったように感じます(ω\)。人と関わる機会が少なくなると、自然と笑うことも減ってしまうと痛感させられました。笑うことは免疫力アップ、血行改善、認知症予防、口腔機能改善など様々な効果が期待できると言われています。施設に入所されている利用者様にとって一番長く関わりを持つ人は介護職員です。介護職員はそのことを胸に刻みながら日々、利用者様の笑顔を引き出せる介護に努めております(*▽*)

広報紙作成者の一押しメニュー！



白亜館では日々、利用者様にできる限り満足して頂けるお食事を提供しております。そこで、令和5年の4月～6月の期間で広報紙作成者が独断で選んだNo.1メニューをご紹介します。

【献立】

●オムライス ●ポテトサラダ ●コーンスープ ●ババロア

上記は5月5日の端午の節句のメニューです。ほとんどの利用者様が完食されていました。当然ながら私も量、味ともに大満足でした！今後も白亜館では利用者様に嗜好調査を行ないながら満足して頂けるお食事を提供して参ります(*▽*)



～介護保険制度ミニ知識～ 看取り介護とは



「看取り介護」とは無理な延命治療を行わず、人が自然に亡くなっていくまでの過程を支援することをいいます。ターミナルケアとの違いは、医療行為を行うかどうかという点です。ターミナルケアは「終末医療」と別名が付いている通り、終末期における治療や看護を積極的に行なっていきます。一方で看取り介護の場合は、日常生活のケア（食事や排泄介助、褥瘡の防止など）が中心となります。

白亜館でも看取り介護を行なっています。医師、施設長、現場の介護職員、看護職員、管理栄養士、機能訓練指導員、相談員、ケアマネジャーなどの関係職種が一丸となって利用者様のこれまでの人生で大切にきて来たことに寄り添いながら、その人らしい最期を迎えられるように支援していきます。そして、日々変わりゆく状態に合わせて今できる最善のことを常に模索しながら肉体的、精神的苦痛を緩和できる介護を行なっていきます。

看取り介護が終結した後は各職種間で振り返りを行ない、「身体的、精神的苦痛を緩和できたかどうか」「利用者様やその家族様にもっとできることはなかったかどうか」「食事内容や居室の環境は最適だったかどうか」など多角的な分析を行ない、次の看取り介護へと繋げていきます。

白亜館ではコロナ禍で面会が制限されている期間もできる限り利用者様と家族様と会える時間を設け、互いに不安な気持ちや寂しい思いを軽減できるように支援させて頂きました。

●亡くなる前の利用者様に起きる変化とその対応

- ①食事量や水分摂取量の減少
- ②意識レベルの低下によるせん妄やお迎え現象
- ③血圧の低下や脈拍の変化
- ④不安定な呼吸状態やチアノーゼの出現
- ⑤排尿量の低下による浮腫
- ⑥排便障害と褥瘡の発生
- ⑦発熱



●特別養護老人ホームの看取り介護で介護職員ができること

- ①病状や今後の経過についての情報提供により家族様の不安を取り除く。
- ②乾燥する皮膚を保湿する。
- ③状態に合わせて清拭や入浴を実施する。
- ④身体の向きを変えたり、さすったりする。
- ⑤柔らかいベッドマット（エアーマット等）を使用する。
- ⑥話しかけたり、好きな歌を流す。
- ⑦食べやすいもの（アイスクリームやプリン、ゼリーなど）を提供する。
- ⑧居室に花を添えたり、家族写真を貼ったりする。また、適切な室温や照明調整も行なう。
- ⑨バイタル（血圧、体温、脈拍）や酸素飽和度を毎日測定し、看護師に報告する。



介護福祉士に合格しました！



私が介護の仕事を始めたいきっかけは、今から4年前に友人から「介護の仕事をやってみない？」という言葉もらったことです。介護の仕事を始め当初は戸惑うことが多く、辛いこともたくさんありました。けれども、白亜館の周りの職員の方たちの多くの支えや励ましの言葉があり、今では天職として働くことができます。また、私自身も書物やインターネット等を活用して一生懸命に介護の勉強をしました。

4年が経過した現在、私が介護の仕事の中で一番嬉しいと感じる瞬間は、利用者様から「ありがとう」と言って頂けることです。時にはつらいこともあります。この「ありがとう」と言って頂けることで介護の仕事にとってもやりがいを感じています。また、私は利用者様の昔話を聴くことが大好きで人として成長させてくれる励みになっています。

介護福祉士を取得した後も利用者様一人ひとりに合った介護方法を学んでいきたいと思えます。そして、尊敬と寄り添う気持ち忘れず、利用者様が白亜館で安心して過ごせるようにお手伝いさせていただきますのでどうぞよろしくお願い致します。

介護福祉士 三村蓉子



面会について

令和5年6月1日より面会要件を緩和しています。コロナ禍前の居室内面会となりました。電話予約等も必要ありません。ただし、面会者の方にはこれまで通りマスク着用をお願いするとともに、当日の体調確認はさせていただきます。また、面会時の飲食はご遠慮いただき、少人数、短時間での面会をお願いします。今後の社会情勢や当施設の状況により面会要件が変更になる可能性もございますので予めご了承下さい。詳細につきましてはお電話でお問い合わせ頂くか、ホームページを定期的にご覧ください。今後とも白亜館をよろしくお願い致します。

今後のイベント・行事予定

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから屋外でのイベントを少しずつ実施していく予定です。また、施設内での行事やイベントも状況を見ながら少しずつコロナ前のスタイルに戻すことができればと思っています。行事・イベントの開催情報は随時ホームページに掲載していきますので、ぜひご覧下さい。

編集 後記

コロナ禍になって3年が経過しました。やっとかつての日常生活が戻りつつあります。今まで当たり前だったことが当たり前ではなかったことに気付かされた3年間でした。もちろん、ウイルスが消滅した訳ではありませんので、今後も基本的な感染対策は継続して介護業務を行ない、プライベートの方も充実させていきたいと思っています。皆さんもぜひこの機会に、今まで会えなかった大切な人に会いに行ってみてはいかがでしょうか？